

## 家庭閑話

その子

▲又なき友の尙嫁かて居ませるが、一日吾に向ひて、結婚後の生活と、一人にて過し、時の夫と、何れか楽しみ多きと、尋ね給ひぬ。

▲一口にいはんには結婚といふもの互の幸福を進めん爲めなること勿論なれど、さりとては、夫を持ちて以來、袖に涙の露の干ぬ花嫁も在さん、妻取りてのち、今迄に覺にざりける人知れぬ苦悶を経験せらるゝ男もありぬべし。かゝる方面のみ眺めたる人、殊には稚なき時より調はぬ家庭に人となりたる者には、かゝる疑問のたこること、宜ならずとは申されし。

▲何事にも正しき條件こそ必要なれ、結婚によりて、より不幸の境遇に沈みたる人々は結婚の條件

を忽にしたればなり。誤りたる條件の下に結婚せんよりは、寧ろ退いて、單獨の生活に悠々自適の樂を專にせんこそ一生の幸福なるべけれ。

▲世路由來艱難多し、人生豈嬉樂なからずや、悲を減じて半とし、樂を増して二倍とする、これ誠に朋友の賜とこそ聞け Friendships multiply joy and deplete griefs. 夫婦は一身同體、其間彼なく我なし、其賜いかにぞ、朋友の夫と同日にわけつらふべしや。

▲ゲーテと申す詩人の言葉に、帝王たると農夫たるとを問はず、家庭を樂む人は最も幸福なる者なり He is happiest, be he king or peasant, who finds peace in the home. とふを聞き侍り、よし恒の産なくとも、家庭だに圓滿ならんには、世の罪惡の半は救はれぬべし、而して男子は家を作れ

ども家庭を作るは婦人の方に在れば Men make houses, but women make homes. 平和なる家庭を作ることとは、中々に、自分たちの幸福の爲のみにはあらずし。

▲智識は人を愚ならしむ、家庭の要素は智識にあらずして感情にこそあれ、同情、恩愛、深切、さては仁恵、温順などもろくの感情の一家に浸漸するありて、こゝに、圓滿なる家庭も成立ちぬらん、智識は分解的なり感情は總合的なり、吾と彼とを密着せしむるは智にあらで情なり、ましてや知るといふとは、獨り、智の働きにのみ屬せず、情を待つて、高尚なる真理も解せらるべきに於ておやと、鹿爪らしく論へる人のおはせし。

▲別れて久しき友の、地方に在せるが、先頃一人の女の兒まうけ給ひしとて、贈し給へる文のはし

に、

此頃はなす事もなくて、たゞく子どもの顔のみ眺めて一日くと過ぐしをり申し候。今年もはや半を過ぎ候、又々間もなく自分たちの年を重ね候かと思へば、何となく情なく候へども、夫れ丈け子どもを生長するかと思へば、又なく樂しき心地致され候………

Water, Smoke and a Vicious woman, drive men out of the house.

水と煙と不貞の婦人とは共に男子を屋外に逐ひ出すものなり